

選挙・大切な一票

えらぼうと

～Era・vote～

No.2

●「えらぼうと」は 選ぼう と vote(投票する) を組み合わせた造語です



選挙権

20歳 ⇒ **18歳**

日 直

△ ○
△ ○
△ ○

荒川区立第五中学校で 模擬選挙を行いました。

7月11日 土曜日



公益社団法人東京青年会議所、特定非営利活動法人僕らの一歩が日本を変える。(略称:ぼくいち)、第五中学校、荒川区選挙管理委員会で協力をして模擬選挙をしました。授業の風景をご覧ください!!

①授業内容の説明



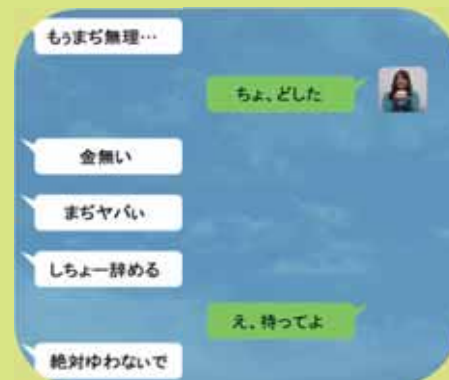
模擬選挙は、社会科の授業(3年生)として行われました。始めに授業の進め方や「架空都市である未来市の模擬選挙をやってみよう。」のテーマ設定などについて、教科の先生が説明を行いました。

②政治や選挙に関する 関心度チェック



さあ、模擬選挙の始まりです。最初に、「政治や選挙に興味がある人っていますか?」の質問に対し、残念ながら、手をあげる生徒さんは誰もいませんでした。

③架空都市(未来市) 市長辞職



架空都市「未来市」の市長が財政破綻寸前で辞職したことから、市長選が始まりました。辞職するシーンは、SNSを利用した市長と司会者の掛け合いが中学生の気持ちをグッとつかみしました。

④市長選挙始まる



候補者は3名。それぞれ財政をどう立て直すか公約を発表しました。

木内さん：公共施設の削減

村山さん：市税を1年間倍増

後藤さん：企業誘致による増収
公約だけを聞き、挙手による投票を行った所、企業誘致を公約に掲げた後藤さんが一番人気でした。

⑤候補者討論会



候補者討論会では、村山候補が後藤候補に対し「企業誘致は実現性が低い。失敗したら破綻してしまう。」と意見したところ、後藤候補からは、「でも一発逆転できると信じてます。」と回答。後藤候補の雲行きが怪しくなってきました。

⑥グループディスカッション



始めは難しい顔をしていた中学生も、候補者の施策が自分達にどう影響するかを話し合っているうちに、どの候補者が良いか考えられています。

⑦投票・開票



選挙で実際に使用する投票用紙、記載台、投票箱を使用して投票を行いました。また、開票は選挙管理委員会事務局の職員が行いました。

⑧開票結果・まとめ

開票の結果、始めに人気が集まった後藤さんではなく、マニフェストに「市税を1年間倍増」を掲げた村山さんが当選しました。

【開票結果】

木内さん：14票

村山さん：37票

後藤さん：12票

最後に、ぼくいち代表の後藤さんから最初と同じように「政治や選挙に興味を持ちましたか?」と質問したところ、多くの生徒さんが興味を持ったと手を挙げてくれました。模擬投票を行った生徒の皆さんが選挙権を持つのはおよそ3年後。今回の経験を忘れずに、投票に行ってくれることを期待します。

平成 27 年 4 月 26 日執行 荒川区議会議員選挙の投票率

投票率の推移



荒川区議会議員選挙の投票率の推移をみると、平成 19 年以降は減少しており投票率も平成 15 年からは、50%を切っています。

また、補欠選挙を除き、今回の選挙は過去最低の投票率となりました。



年代別投票率(一部投票区を抜粋)



投票率を年代別に見てみると、20 歳では 36.84%となっているものの、21 歳～24 歳、25 歳～29 歳の投票率は、他の年代より低いことがわかります。

明るい選挙推進協議会・推進委員会議が開催されました

平成27年5月20日に明るい選挙推進協議会、5月27日に明るい選挙推進委員会議が開催されました。

会議の中では、昨年度の啓発事業の結果報告や、今年度の啓発事業計画概要について、法改正に伴う若年層へのさらなる啓発活動を行っていくことも含めて説明を行いました。



明るい選挙推進協議会

明るい選挙推進委員会議



選挙物品を貸し出しています

選挙管理委員会事務局では、日頃から選挙を身近なものとして感じ、選挙や政治に興味を持ってもらうために、投票箱、記載台など選挙物品の貸し出しを行っています。

・貸し出し選挙物品

投票箱・投票用紙記載台

※必要に応じて投票箱用鍵・投票箱置台等も貸し出しします。

※使用方法や組み立て方等、ご希望があれば選挙管理委員会事務局で説明します。

・貸し出し対象

荒川区内の学校および公共施設等



成人の日の集い



生徒会選挙

・過去の使用事例

小中学校生徒会選挙

模擬選挙

成人の日の集いでのアンケート回収

【貸し出し申し込み】

選挙管理委員会事務局までご連絡ください。

電話 03-3802-3111 内線3411

声 の ひ ろ ば

学校教育に期待

荒川地区 白石 幸江

来年夏の参議院選挙から満18歳以上の投票がスタートします。近年、選挙の立ち合いをされていて感じることは、やはり若者の姿が少ないということです。20歳になり初めての投票に親子で来る姿を微笑ましく眺めることもあります。その後ひとりで来るかというと・・・。

そこで、次選挙の18歳選挙権導入にはとても期待しています。18歳というと高校3年生です。学校では、これを機に関心を高める授業が開始されたと聞きました。

授業で一票の重み、選挙への親近感を持たせることで、意識の高いうちに投票所に行くことが重要だと思うのです。親に言われて行くのではなく、自分の意思で投票に行く18歳。スタートまでの1年間、学校教育の充実に期待したいと思います。



期日前投票管理者を経験して

日暮里地区 深澤 純

私は昨年4月から「明るい選挙推進委員」となり、今年4月の選挙で初めて管理者として投票に立ち会わせて頂きました。

自分は、管理者としては初心者のため「研修会の参加」や「熟練者との対談」をし、その結果、若年層の多くが選挙に興味がない事を理解することができました。

次に、地域の皆さんにPRとして選挙の小冊子やキズバンドを駅前周辺で配布した時、「いつやるの?」と聞いた時は選挙に興味がないことに愕然としました。

選挙当日は、緊張しながら管理者業務を

行いました。始業のチャイムと同時に不正がないかを監視し、時間が経つにつれて投票しに来る有権者が増えてきて、事務従事者の指示に従って安全に案内して、トラブルもなく無事に終わる事が出来ました。

さらに、皆さんに分ってもらえる選挙にしていきたいと思える良い経験をさせて頂きました。



4月に20才になり、間をおかず区議選を経験した孫に初投票の感想を聞いてみた。

「まさか投票券が届いていると思っていなかったのに、突然行って来いと言われて戸惑った。でもあの親には逆らえなかったもので、しぶしぶ行って来た。投票所の雰囲気は、ただ大人が3人座っていてそんなに悪い感じはしなかった。候補者名は以前聞いた事のある名前があったのでそれを書いてきた。」とのことだった。

初めての割には、たんたんと投票をす

ませてきた様に思った。

我が孫もやはり政治に無関心であったかと落胆したが、予備知識もなく動機はどうあれよくぞ棄権せずに投票所に足を運んでくれたと感激もした。

今後は少しでも政治に関心を持ち、これに懲りずに棄権することなく、大事な一票を行使して欲しいと思いました。



川の手荒川まついで 啓発活動

4月29日、南千住野球場で川の手荒川まつりが開催されました。

明るい選挙推進協議会は、昨年度のポスターコンクールで荒川区入選・佳作となった作品及び、荒川区議会議員選挙の地区別投票率一覧の展示を行いました。

また今回は、明るい選挙推進イメージキャラクターのめいすいくんも応援に来てくれました。



めいすいくん、応援

選挙権年齢が20歳から18歳になります。

公職選挙法の改正により、来夏の参院選から、選挙権年齢が20歳から18歳に変更となります。選挙権年齢の引き下げは、現在の「20歳以上」となって以来70年ぶりの大きな改正内容となります。

今回の改正のきっかけは、平成19年に成立した国民投票法で、憲法改正の是非を問う国民投票を「原則18歳以上」と定めたことから始まったもので、選挙権年齢そのものの議論から、機運が高まった結果であるとは言い難いものです。

とはいえ、選挙を行っている国の約9割が選挙権を18歳からとしており、日本も世界標準に合わせることとなりました。

新たに有権者となる18、19歳は、全国で約240万人、荒川区で約3,000人

です。

選挙運動が出来る年齢についても、今後18歳以上に変更となるため、正しい知識を持ち、法律違反をしないように注意しましょう。

選挙権を持たない方の選挙運動は禁止されています。

有権者は、ウェブサイト（フェイスブック・ツイッター等）を利用した選挙運動を選挙運動期間内で行うことができますが、選挙権を持たない方は一切の選挙運動は出来ませんので、ご注意ください。

有権者の選挙運動に関する投稿をシェア、リツイートする行為も選挙運動となります。

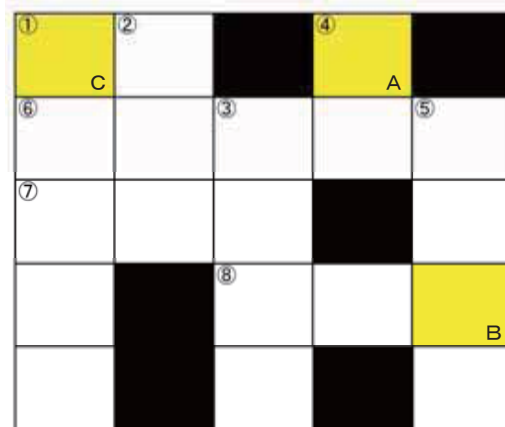
選挙クロスワード

縦のヒント

- ① 投票用紙に候補者名などを書くために使う台のこと
- ② 肉を細かく切って〇〇〇状に
- ③ 統一地方選。桜島がある、この県でも執行したよ
- ④ 選挙で当選「これは、めで〇〇」
- ⑤ 明るい選挙のイメージキャラクターは「〇〇〇〇くん」

横のヒント

- ① 「〇〇」の一票が政治を変えます。卵も、白身と〇〇っていうね
- ⑥ 当選2回の次は、何回目？
- ⑦ 赤くて甘酸っぱい果物。この容器は開票の時にも使っているよ
- ⑧ 白い稚魚の総称。釜揚げ〇〇〇



答え ※答えは1ページの下にあります。



ヒント：演説のときにはこれが必要

編集委員

熊井 芳子（南千住） 白石 幸江（荒川）
河路 隆平（町屋） 浅賀 静江（東尾久）
八幡 文子（西尾久） 深澤 純（日暮里）
武藤 文平（選挙管理委員会委員長）
小林清三郎（選挙管理委員会委員長職務代理者）

平成27年9月発行
荒川区明るい選挙推進協議会
荒川区選挙管理委員会
荒川区荒川2-2-3
電話3802-3111（大代表）
FAX3802-3124
登録番号（27）0042号